

# あなたは地球に

# やさしくしてありますか

6月1日～30日は環境月間



地球とはもっとなかよくなれるはず

## ごみ減量・リサイクルは、身近な環境問題

ごみは年々増えており、焼却処理によって地球温暖化の原因となる二酸化炭素も増え、また埋立処分場の増大など環境への影響は少なくありません。

- ①分別をキチンとする
- ②生ごみの水切りを十分にします
- ③無駄な消費をしない
- ④買物の際、包装をこたわる

また、リサイクルは、ごみの減量や限りある資源の有効利用など、多くのメリットがありますが、輪になってこそリサイクルです。資源回収だけでなく、みんながリサイクルされた商品、リサイクルされやすい商品を選んで買うことも大切です。

平成7年度は、ごみから鉄・アルミを約440ト、古紙を約670ト回収しており、また市役所で使用するコピー用紙など、はできる限り再生紙を使っています。

## 川や海にやさしい生活を

川や海の汚れの約70%を生活

排水が占めています。洗濯・調理の際はつぎのことに心がけましょう。

- ①洗剤は適量使用する
- ②調理かすを流さない
- ③食用廃油は絶対流さず、古紙などにしみ込ませて、ごみとして出す

市では、生活排水対策として下水道、農・漁業集落排水施設の整備を進めており、整備計画区域外では、補助金制度による合併処理浄化槽の設置を推進しています。

## 身近な生活環境をきれいに

きれいな生活環境は、誰もが気持ちいいものです。ほんの少しの心がけて街はきれいになります。

- ①ごみはルールを守り、指定日・指定場所に出す
- ②空き缶などのごみのポイ捨てをしない
- ③地区の清掃活動などに積極的に参加する

6月9日(日)は「環境美化行動の日」です。地区や団体等で空き缶などの回収活動をされる場合、火ばさみの貸出・ごみ袋の提供等を行っていますのでご利用ください。

## ◆問い合わせ 保健衛生課

環境衛生係 ☎②③1134

# 集中豪雨に備えよう



土砂災害のほとんどは、長雨や集中豪雨がきっかけで起こります。

一般に1時間に20ミリ以上の激しい雨または、降り始めからの合計雨量が100ミリを超えると土砂災害が起こりやすいといわれています。こうした大雨のときは土砂災害に十分警戒してください。

災害の兆しがみえたら

- ◆市役所防災車両係 ☎②③1111
  - ◆長門地区消防本部 ☎②③1111
  - ◆長門警察署 ☎②②0110
- へ場所・状況を連絡するとともに、避難の準備を始めてください。

家族の連絡方法など、事前に確認をしておきましょう。

## 地すべり

こうなると危険です

- 斜面に段差や亀裂が生じたとき
- 樹木や電柱が傾くなどしたとき
- 池や井戸の水が急に減ったり濁ったりしたとき
- 地すべりは雨のほか地震によって引き起こされることもあります

## がけ崩れ

こんなところが危険です

- がけにひび割れがしているところ
- がけの上部がせり出しているところ
- がけから水がわき出したり、がけの裏面を水が流れているところ

## 土石

こんなところが危険です

- 谷川に大きな石がごろごろあるところ
- 裏山に急な谷川があるところ
- 過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してできた扇状地のところ